

【平成 27 年度】

統計研修講義計画書

研修課程	統計入門課程 統計利用者向け入門	講義科目	統計学入門	講義時間	5 コマ
講師	渡辺 美智子 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授				

※ 1 コマ 70 分

講義のねらい

統計学の基礎、特に統計的なものの考え方を身につけることを目指す。具体的には、序論で統計学の目的・役割を紹介し、データ収集のための標本調査法について簡潔に説明する。次にデータの性質に応じた分類を行い、各々のデータに即した記述方法について、クロスセクションデータと時系列データとに分けて説明する。さらに、統計的手法の中でもっとも良く使われる回帰分析について、その概要を紹介する。時間が許せば、推測統計学の基本について述べる。

指導項目と内容

指導項目	内 容
序論 統計調査とは 標本調査法 データの分類 1 変量横断面データの記述---視覚化 1 変量横断面データの記述---数量化 時系列データの記述 多変量横断面データの記述(質的) 多変量横断面データの記述(量的) 回帰分析の基礎 推測統計学入門	統計学とは データの表すもの 母集団と標本 全数調査と標本調査 有意抽出と無作為抽出(単純無作為・層別・系統・多段) 質的データと量的データ 計測形態による分類 度数分布表とヒストグラム 箱ヒゲ図 幹葉表示 中心の指標 ばらつきの指標 時系列プロット 変化率 指数 移動平均 分割表 関連係数 散布図 共分散 相関係数 偏相関係数 回帰式 係数の意味と解釈 当てはまりのよさ 残差分析 推定の誤差 信頼区間 仮設検定とは

講義形態 指導方法	講義
受講に必要な 基礎知識等	特になし